



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 みずほリース株式会社
 コード番号 8425 URL <https://www.mizuho-ls.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津原 周作
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 高橋 利之 TEL 03-5253-6511
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 2021年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	259,963	13.7	13,280	18.1	13,776	△5.8	9,493	△26.9
2021年3月期第2四半期	228,719	△10.3	11,248	△10.8	14,629	13.0	12,991	46.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 15,336百万円 (45.3%) 2021年3月期第2四半期 10,557百万円 (8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	196.25	—
2021年3月期第2四半期	268.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,634,465	223,564	8.1
2021年3月期	2,603,190	210,852	7.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 212,735百万円 2021年3月期 200,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	40.00	—	52.00	92.00
2022年3月期	—	55.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	10.5	30,000	15.5	33,000	19.8	23,000	5.6	475.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	49,004,000株	2021年3月期	49,004,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	626,799株	2021年3月期	632,727株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	48,373,601株	2021年3月期2Q	48,366,829株

(注) 期末自己株式数には、当社の株式給付信託が保有する当社株式 (2022年3月期2Q 625,900株、2021年3月期 631,900株) を含んでおります。

また、期中平均株式数 (四半期累計) の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式 (2022年3月期2Q 629,539株、2021年3月期2Q 636,368株) を含んでおります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2021年11月9日に、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 契約実行高	12
(2) 営業資産残高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、世界的な新型コロナウイルスの影響が続きましたが、日本では緊急事態宣言が度々発令され、各国感染防止策を講じ、持ち直しの兆しが見られました。先行きについては不透明感が強く、依然として注意を要する状況にあると認識しております。

こうした状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間のリース・割賦、ファイナンス及びその他の契約実行高の合計は、前年同期（2020年9月期）比13.9%減少して590,026百万円となりました。

リース・割賦の契約実行高は、前年同期に情報通信機器、産業・工作機械で大口案件の実行があったことや、新型コロナウイルスの影響を受け、総じて契約実行高が減少したことにより、前年同期比37.9%減少して214,175百万円となりました。ファイナンスの契約実行高は、不動産ファイナンスの増加等から、同10.6%増加して375,850百万円となりました。

損益状況につきましては、売上高は前年同期比13.7%増加して259,963百万円となりました。売上総利益はファイナンスの資産積上及び外貨調達金利の低下により資金原価が減少したことから、同7.4%増加して25,972百万円となりました。営業利益は信用コストの戻入益が発生したことから、同18.1%増加して13,280百万円となりました。経常利益は持分法による投資利益の減少により、同5.8%減少して13,776百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に投資有価証券売却益が特別利益で発生したことから、同26.9%減少して9,493百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

〔リース・割賦〕

リース・割賦の売上高は不動産ブリッジ案件の満了に伴う物件の売却が重なったことから、前年同期比13.4%増加して251,320百万円となり、営業利益は同7.2%増加して10,934百万円となりました。

〔ファイナンス〕

ファイナンスの売上高は前年同期比22.3%増加して8,256百万円となり、営業利益は資産積上及び外貨調達金利の低下により、同49.9%増加して5,408百万円となりました。

〔その他〕

その他の売上高は前年同期比4.8%増加して386百万円となり、営業利益は同85.9%増加して118百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、リース・割賦、ファイナンス及びその他の営業資産残高の合計は前期（2021年3月期）末比0.1%増加して2,324,324百万円となりました。

セグメント別では、リース・割賦（割賦未実現利益控除後）の残高は前期末比2.8%減少して1,556,436百万円、ファイナンスの残高は同6.4%増加して767,888百万円となりました。

有利子負債残高につきましては、前期末比1.3%増加して2,283,922百万円となりました。

内訳は、短期借入金が前期末比5.0%増加して333,659百万円、長期借入金と同0.6%増加して883,523百万円、コマーシャル・ペーパーが同0.3%増加して716,100百万円、債権流動化に伴う支払債務が同0.3%増加して135,154百万円、社債が同2.4%増加の215,485百万円となっております。

また、純資産合計は223,564百万円、自己資本比率は8.1%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,791百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、日鉄興和不動産㈱の株式取得等により、28,382百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、間接調達で16,521百万円の収入、コマーシャル・ペーパー及び社債の発行等による直接調達で7,435百万円の収入となり、財務活動全体では21,295百万円の収入となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の末日における現金及び現金同等物の残高は、前期（2021年3月期）末比2,080百万円減少し、18,326百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年5月12日に公表いたしました数値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,052	18,805
受取手形及び売掛金	767	517
割賦債権	127,051	119,310
リース債権及びリース投資資産	1,174,068	1,133,095
営業貸付金	329,059	352,068
その他の営業貸付債権	171,614	169,203
営業投資有価証券	220,959	246,616
賃貸料等未収入金	3,913	3,774
その他	38,815	29,200
貸倒引当金	△2,238	△1,763
流動資産合計	2,085,064	2,070,828
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	302,127	306,750
貸貸資産前渡金	13	5
貸貸資産合計	302,140	306,756
社用資産		
社用資産	3,616	3,623
社用資産合計	3,616	3,623
有形固定資産合計	305,757	310,379
無形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	135	128
貸貸資産合計	135	128
その他の無形固定資産		
のれん	29	11
ソフトウェア	5,121	6,684
その他	1,800	239
その他の無形固定資産合計	6,951	6,935
無形固定資産合計	7,087	7,064
投資その他の資産		
投資有価証券	171,991	202,551
破産更生債権等	11,477	20,368
退職給付に係る資産	703	670
繰延税金資産	4,076	4,761
その他	17,559	18,318
貸倒引当金	△526	△477
投資その他の資産合計	205,282	246,193
固定資産合計	518,126	563,636
資産合計	2,603,190	2,634,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,157	24,637
短期借入金	317,783	333,659
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	228,426	238,495
コマーシャル・ペーパー	714,100	716,100
債権流動化に伴う支払債務	101,458	104,166
リース債務	8,958	8,658
未払法人税等	5,865	3,970
割賦未実現利益	2,618	2,848
賞与引当金	1,190	828
役員賞与引当金	136	4
役員株式給付引当金	28	—
債務保証損失引当金	13	13
その他	37,116	40,695
流動負債合計	1,492,850	1,494,076
固定負債		
社債	170,425	195,485
長期借入金	649,933	645,027
債権流動化に伴う長期支払債務	33,261	30,987
役員株式給付引当金	489	489
退職給付に係る負債	2,332	2,151
受取保証金	33,730	32,119
その他	9,315	10,563
固定負債合計	899,486	916,824
負債合計	2,392,337	2,410,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,088	26,088
資本剰余金	23,941	23,941
利益剰余金	149,148	156,089
自己株式	△1,725	△1,709
株主資本合計	197,452	204,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,509	6,744
繰延ヘッジ損益	△1,227	△1,478
為替換算調整勘定	△2,771	2,452
退職給付に係る調整累計額	652	608
その他の包括利益累計額合計	3,162	8,326
非支配株主持分	10,237	10,829
純資産合計	210,852	223,564
負債純資産合計	2,603,190	2,634,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	228,719	259,963
売上原価	204,527	233,991
売上総利益	24,192	25,972
販売費及び一般管理費	12,943	12,692
営業利益	11,248	13,280
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	269	312
持分法による投資利益	4,072	656
その他	73	231
営業外収益合計	4,419	1,202
営業外費用		
支払利息	551	464
社債発行費	81	231
投資損失	340	—
その他	64	10
営業外費用合計	1,038	705
経常利益	14,629	13,776
特別利益		
投資有価証券売却益	3,810	20
関係会社清算益	230	—
特別利益合計	4,041	20
特別損失		
投資有価証券評価損	32	9
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	32	9
税金等調整前四半期純利益	18,638	13,786
法人税、住民税及び事業税	4,224	4,165
法人税等調整額	1,098	△243
法人税等合計	5,322	3,922
四半期純利益	13,315	9,863
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	370
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,991	9,493

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	13,315	9,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,416	120
繰延ヘッジ損益	241	△263
為替換算調整勘定	△855	5,055
退職給付に係る調整額	19	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	253	572
その他の包括利益合計	△2,757	5,472
四半期包括利益	10,557	15,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,240	14,657
非支配株主に係る四半期包括利益	317	679

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,638	13,786
貸貸資産減価償却費	6,657	7,175
社用資産減価償却費及び除却損	1,109	1,285
持分法による投資損益(△は益)	△4,072	△656
投資損益(△は益)	340	△83
貸倒引当金の増減額(△は減少)	657	△597
賞与引当金の増減額(△は減少)	△270	△361
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△89	△131
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△34	△28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△125	△159
受取利息及び受取配当金	△274	△314
資金原価及び支払利息	4,742	4,212
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△3,810	△20
関係会社清算損益(△は益)	△230	—
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	32	9
売上債権の増減額(△は増加)	△96	250
割賦債権の増減額(△は増加)	8,562	8,335
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△79,065	42,676
営業貸付債権の増減額(△は増加)	△58,853	△19,146
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△7,252	△25,408
賃貸料等未収入金の増減額(△は増加)	3,599	171
賃貸資産の取得による支出	△89,213	△61,280
賃貸資産の売却による収入	29,637	52,514
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,458	△10,535
その他	15,440	2,449
小計	△166,436	14,142
利息及び配当金の受取額	829	953
利息の支払額	△4,906	△4,242
法人税等の支払額	△4,537	△6,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	△175,051	4,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△1,468	△1,351
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△48,756	△28,471
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	5,793	2,166
その他	361	△726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,070	△28,382

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	142,803	14,363
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	68,000	2,000
長期借入れによる収入	108,247	117,871
長期借入金の返済による支出	△118,729	△115,713
債権流動化による収入	226,000	253,600
債権流動化の返済による支出	△225,847	△253,164
社債の発行による収入	15,000	45,000
社債の償還による支出	—	△40,000
配当金の支払額	△2,058	△2,548
その他	△102	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,312	21,295
現金及び現金同等物に係る換算差額	△131	214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,940	△2,080
現金及び現金同等物の期首残高	22,299	20,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,358	18,326

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リース・割賦	ファイナンス	その他			
売上高						
外部顧客への売上高	221,600	6,749	368	228,719	—	228,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	422	73	626	△626	—
計	221,731	7,172	441	229,345	△626	228,719
セグメント利益	10,201	3,608	63	13,873	△2,624	11,248

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,624百万円には、セグメント間取引消去279百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,904百万円を含めております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リース・割賦	ファイナンス	その他			
売上高						
外部顧客への売上高	251,320	8,256	386	259,963	—	259,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99	434	78	613	△613	—
計	251,420	8,690	465	260,576	△613	259,963
セグメント利益	10,934	5,408	118	16,461	△3,181	13,280

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,181百万円には、セグメント間取引消去304百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,486百万円を含めております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 契約実行高

第2四半期連結累計期間における契約実行高の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
		契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	契約実行高 (百万円)	構成比 (%)
リース・ 割賦	ファイナンス・リース	234,350	34.2	135,221	22.9
	オペレーティング・リース	89,865	13.1	61,287	10.4
	リース計	324,215	47.3	196,508	33.3
	割賦	20,913	3.1	17,666	3.0
		345,129	50.4	214,175	36.3
ファイナンス		339,880	49.6	375,850	63.7
その他		—	—	—	—
合計		685,009	100.0	590,026	100.0

(注) リースについては、第2四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の取得金額、割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(2) 営業資産残高

営業資産残高をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前連結会計年度		当第2四半期連結会計期間	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・ 割賦	ファイナンス・リース	1,174,068	50.6	1,133,095	48.8
	オペレーティング・リース	302,262	13.0	306,878	13.2
	リース計	1,476,331	63.6	1,439,974	62.0
	割賦	124,433	5.3	116,462	5.0
		1,600,764	68.9	1,556,436	67.0
ファイナンス		721,634	31.1	767,888	33.0
その他		—	—	—	—
合計		2,322,398	100.0	2,324,324	100.0

(注) 割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。